

2022年度事業計画書

1 事業実施の方針

2022年度は、コロナに経営が左右されないように収益事業の多角化を目指す。

非収益事業においては予算を鑑みつつ地域食堂事業を実行する。

さらに、学習支援と食事支援を組み合わせた学習支援事業を実行する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益者数	支出見込額(千円)
①食事支援	SPICEnine	月4回	各店舗	1名	80人	499
	和洋中味熊	月4回		1名	80人	499
	TABIMA	月8回		2名	160人	998
	Bar Take☆s	月2回		1名	40人	250
	焼肉 大苑	月2回		1名	20人	125
②学習支援	TABIMA	月12回	店舗	1名	12人	571
③居場所支援	TABIMA	月12回	店舗	1名	12人	571

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	支出見込額(千円)
カフェ事業	軽飲食・弁当販売を行う。	通年	事務所兼店舗	2名	1500
物産品販売事業	地方の特産品の販売をする。	通年	事務所兼近隣施設	1名	700
イベント事業	ワークショップの開催	通年	事務所兼近隣施設	1名	700
自販機事業	地域の物産品を自販機で販売する	通年	現在検討中	2名	10000

活動を長く継続していけるよう、地域食堂事業は無理のないように開催する。

補助金等に大きく頼らないために自販機事業に参入する。

カフェ事業はコロナで売り上げが伸ばせなかった分を取り戻せるように

デリバリーやSNSの宣伝を効果的に活用する。